

1 『村の掟で生贄として土地神に差し出され、性的に食べられました』

2 ASMR 脚本

3

4

5 ◆登場人物

6

7 ・月華（げっか）

8

9 ・主人公の住む村で崇められている土地神。

10

・尊大な態度で、自らの認めた相手はとことん可愛がる。

11

・数百年前から村の近くにおり、十年に一度生贄を要求する。

12

・気に入った生贄は性的に食べ、気に入らない生贄は物理的に食す。

13

・金色の長い髪をしており、頭には狐の耳が生えている。

14

15		【村の掟で生贄として土地神に差し出され、性的に食べられました】
16		
17		「生贄を要求した土地神
18		
19		場所：林の中の寂れた鳥居の前・昼
20		
21		
22		・生贄として鳥居の所へとたどり着いた主人公。
23		
24		SE：林が風に揺れる音
25		SE：月華が主人公へと歩いて近づいてくる音
26		
27	⑥中→⑥近	「おう…よく来たのう…待ちわびたぞ」
28		
29		「お主が此度の生贄かえ？」
30		
31		・右頬を舐める
32		
33	⑧接	「れろろおおっ」
34		
35	⑥近	「ふむ…悪くない。妾は満足じゃ」
36		
37		「妾（わらわ）は月華…お主の地を守る土地神じゃ」
38		
39	③接	「生贄となったからには、逃げだすでないぞ？」
40		
41		・左耳から左頬、鼻、右頬へと顔を舐めていく
42		
43	④接	「れえろお…」
44		
45		SE：衣擦れ
46		
47	⑤接	「じゅるっ…れるっ」
48		
49		SE：衣擦れ
50		
51	⑥接	「ぐろっ…じゅるっ…」
52		
53		SE：衣擦れ
54		
55	⑦接	「んれええっ…れろっ…」
56		

57	⑧接	「れえええろろってっ…」
58		
59		SE：衣擦れ
60		
61	⑨接	「れえええろ…じゅるっ」
62		
63	⑨接	「お主は妾に食べられるんじゃないかな…」
64		
65		「さあ、その台へ寝そべるが良い…」
66		
67		・主人公と月華が台まで歩いていく
68		
69	⑨近	「なあに…痛くはせん…ちと辛いかもしれぬがなあ？」
70		
71		「妾の好きなようにさせてもらうだけじゃ」
72		
73		SE：主人公が台座に寝そべる音
74		SE：主人公に月華が覆いかぶさる音
75		
76	⑥近	「それ、服を脱がせてやろう…」
77		
78		・月華が主人公の和服を脱がせていく音
79		
80		「お主の身体も…非常にそそののう…くふふふ…」
81		
82		「今年からしばらくはお主の村に豊穰を約束してやろうではないか…」
83		
84		「妾に感謝するがよい」
85		
86		・月華が台の上で立ち上がって、主人公に足を差し出しています
87		
88	⑥遠	「今なら妾の足に接吻をしてもよいぞ…ほれ」
89		
90		・主人公が足にキス SEは無しです。
91		
92		・主人公にまたがる月華
93		
94	⑥近	「…くくっ、いい子じゃ…」
95		
96		「従順なお主には、良い夢を見させてやろう…」
97		
98		SE：月華が服を脱ぐ音

99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
111	
112	
113	
114	
115	
116	
117	
118	
119	
120	
121	
122	
123	
124	
125	
126	
127	
128	
129	
130	
131	
132	
133	
134	
135	
136	
137	
138	
139	
140	
⑨接	
⑥中	
⑥近	

	「妾の身体はどうじゃあ？」
	「むっちむちで、ふわふわの極上の身体じゃろう？」
	SE：体勢を移動する音
	・月華が仰向けになる形
	「妾が搾り取ってもよいが、つまらぬ。 お主が腰を動かして、妾に奉仕せよ」
	・主人公がおそるおそる月華に近づく
	「よいぞ、このまま来い」
	SE：挿入音
	「んっ…ふうっ…！」
	「よきマラである…なっ！」
	SE：主人公が正常位でピストンをする音
	「んっ、ふぁっ！　ふうっ、なかなかっ、やるではないかっ」
	「その調子で励めっ、あっ、ふうっ、はんっ！　あっあっ」
	「はっ、あぁっ、よい腰づかいじゃっ、あぁっ、あはぁぁっ、ふっ、はぁっふっ！」
	「ううんっ！　ふううううっ！　はぁっ、あんっ、あっ、あぁぁっ」
	「ほれっ、もっと、もっとちこう寄れっ！」
	「んーっ、ちゅっ」
	「かっかっか。甘露甘露」
	「ちゅっ、ちゅうっ、ちゅっ、ちゅっ、れろれろ…」
	「れろ、ちゅっ、ぺろぺろ」
	「こっちも…ちゅっ、れろれろれろれろ」
4/8	

141		
142		
143		
144		
145		
146		
147		
148		
149		
150	③接	
151		
152		
153		
154		
155		
156	③接↓⑥接	
157		
158		
159		
160		
161		
162		
163		
164		
165		
166	⑨接	
167		
168		
169		
170		
171		
172		
173		
174		
175		
176	⑨近	
177		
178		
179		
180	⑥接	
181		
182		

・耳を甘噛みする

「はむはむ…ちゅうう…ちゅううううう…」

「んっ、ふううつ、はあ、はっはあっ、んっ、ふううつ」

・反対側も舐める

「ちゅっ、れろっ、れおれろれろれろ…んちゅ」

「れろれろれろ、ちゅっ、ちゅぱっ」

「んはあ…お主の全ては妾のものじゃ」

「マラも、精液も、声も、感情も、この唇もな♡」

・キス

「ちゅっ、ぢゅううううつ、れろっ、ぢゅううつ、ぢゆるるるるるっ」

「良いぞ…妾は満足じゃ」

「ああっ、んああっ、はあっ、あああっ、あっあっあっ」

「極上のメスが目の前におるぞ？」

「ただの人では決して交われない存在のメスがなあ？」

「お主は幸運じゃのう…」

「妾のおまんこを知ってしまえば、もう他のメスでは満足は出来ぬであろう」

「退屈させてくれるなよ？」

「んっ、ふっ、はああっ、はっ」

「ああっ、はあっ、はっ、はうつ、はっ、はっ」

「ほれ、唇うつ…んっ、ちゅううつ、ちゅっ、ちゅっ」

「マラで極上のメスを墮としてみせよ」

183	
184	
185	
186	
187	
188	「おほっ…良い調子じゃっ…ほれっ、たんたんたんっ」
189	
190	「んっ、はああっ！」
191	
192	「ああっ、はあっ、はあっ、はっ、んあっ！」
193	
194	「あっ、はああっ、ふうっ、ふうっ、はっ、はっ」
195	
196	「はあああっ、んんっ、よいっ、よいぞっ」
197	
198	「お主が射精の欲求に耐え、喘ぐ表情はたまらんのう…♡」
199	
200	「見ていると子宮が勝手にきゅんきゅんしてしまうぞ♡」
201	
202	・囁き
203	
204	「罪作りの男じゃなあ？」
205	
206	「おしおきしてやらねばなるまい」
207	
208	
209	
210	「んうっ、はあっ、ふうっ、はああっ、はっ、はあっ」
211	
212	「あっ、あああっ、はっ、はっ、はっ、はっ」
213	
214	「はふっ、んっ、はあっ、むふっ♡ よいぞっ、最高じゃっ♡」
215	「良い所をカリカリしてくれるっ♡」
216	
217	「あっあっあっあっ…よいっ！ よいぞっ！」
218	
219	
220	「これからもっ、んっ、ふあうっ！ 期待しておるからなっ♡」
221	
222	「あっ、はあっ、はうっっ♡ はあっ、はあっ」
223	「ふーっ、ふうっ、ふうううっ♡」
224	「んぐっ、んぐぐぐっ♡」

「うくっ、はああんっ♡」

・囁き

「子宮がつ、んああっ！　ちゅっ、ちゅーちゅーしておるのが分かるか？」

「妾の求愛行動じゃ♡　よく覚えておくのじゃぞ♡」

・唇でもキス

「ちゅーっ、ちゅっ、っちゅううっ、れろっ、れるちゅっ」

「愛いやつめ♡」

「ちゅっ、ちゅうううっ、ちゅう、ちゅ」

「ちゅ、れろれろれろれろ…ちゅっちゅっ」

「ぷはっ…そろそろっ、一番濃いのが出そうか？」

「妾を孕ませられるかのうっ？」

「くふふうっ♡　ああっ、はあっ、んふっ、ふうっ、はあっ、ふっ」

「ほれっ、出せっ、出せっいっぱい出せっ」

「あっ、はあっはあっ。あうっ！

ああうっ！　ああっあっあう！　あう！　っあうっ！っうううう！」

「あっあっあっあっ…はっ、はああっ！」

SE：射精音

「はああああああああああんっ！！」

「ふうううっ、ふうううっ！　はあっ…はあっ…はあ…」

「濃いのがいっぱい出てる…良き精気じゃ…」

「なんじゃ？　今日だけだと思っと思ったのか？

そんなわけなからう…妾の守護…安くはないぞ」

「これから毎日、マラを勃起させるが良い。  
妾が満足するまでな」

「よろしく頼むぞ♡ くふふふっ」

・村の掟で生贄として土地神に差し出され、性的に食べられました  
END